



# 日乗連ニュース

## ALPA Japan NEWS

www.alpajapan.org

Date 2006.02.21

No. 29 - 32

発行：日本乗員組合連絡会議・ALPA Japan  
幹事会  
〒144-0043  
東京都大田区羽田5-11-4  
フェニックスビル  
TEL.03-5705-2770  
FAX.03-5705-3274  
E-mail:office@alpajapan.org

## 全 CREW の信頼がなければ LOSA はできない

(LOSA は組合との合意が必要)

日本で、いくつかの航空会社が、LOSA の導入を計画しています。

LOSA (Line Operations Safety Audit) はテキサス大学が開発した安全監査です。

LOSA は、Observe Seat からの通常運航の観察データを、コンピューターで処理をして、航空会社の健康状態 (安全状態) を見る監査です。

外国他社の例によると、LOSA を行う航空会社は、PILOT の理解を深めるために、小冊子、Website、説明会などの十分な情報を提供するためにかなりの努力をしています。

日本の各航空会社が必要な努力をするようであれば、いずれ皆様にも多くの情報が伝わってくるはずで、したがって、ここでは LOSA の詳細についての説明は省きます。

ここでは、LOSA の実行部隊の TLC (The LOSA Collaborative) の責任者 James Klinect 氏の講演から LOSA の遂行の上で不可欠な「信頼」についてお話しします。

LOSA は 10 か条の特長によって定義付けられています。

1. Jumpseat observations during normal operations
2. Anonymous, confidential, and non-punitive data collection
3. Voluntary crew participation
4. Trusted and trained observers
5. Joint management / union sponsorship
6. Systematic observation instrument
7. Secure data collection repository
8. Data verification roundtables
9. Data-derived targets for enhancement
10. Feedback of results to line pilots

一つずつ見ていくと、

1. Jumpseat observations during normal operations

LOSA は Jumpseat から通常運航をオブザーブしてデータを収集します。

2. Anonymous, confidential, and non-punitive data collection

Anonymous (無記名、匿名) Confidential (機密、部外秘の) Non-Punitive (懲罰的でない) なデータ収集です。



3 . Voluntary crew participation

自発的な参加によります。つまり、オブザーブされるのがいやな人は断ることが出来ます。参加を拒否してもお咎めは一切ないことが事前に説明されるはずです。

4 . Trusted and trained observers

信頼できる人がオブザーバーとして選ばれ、必要な訓練が行われます。これまでの多くの例では Pilot 組合と会社の両方で候補者を検討しています。

5 . Joint management / union sponsorship

経営と PILOT 組合の両者が合同で後援すること。信頼を得る第一歩です。

6 . Systematic observation instrument

Threat and Error Management をベースにした組織だった観察が行われます。

7 . Secure data collection repository

集められたデータが信頼できる状況で管理されることが重要です。Klinect 氏は金庫番としては第三者もしくは Pilot 組合が適切と述べています。

8 . Data verification roundtables

データは処理に適切な形式であることが確認された後にコンピューター処理が始まりますが、不当な処置が行われないように複数の人々によって精査が行われます。

9 . Data-derived targets for enhancement

LOSA 解析によって明らかになった問題点は、データに裏づけされた説得性のある安全増強策に繋がるとテキサス大学は主張しています。

10 . Feedback of results to line pilots

LOSA の解析結果と、会社が行おうとする安全対策に関する情報の両方が、Line Pilot のすべてにフィードバックされなければなりません。

最後に、Klinect 氏は、

「LOSA の品質と信頼を保証するために、行われる LOSA は 10 か条のすべてを備えていなければならない。一つでも欠ければ LOSA の頭文字は使用できない」と述べています。

